

令和6年度第2回小学校教科担任制推進協議会 実践交流資料

1 学校名・教科型

三次市立八次小学校 4教科型

2 学校の概要

学級数及び児童数(R6.12.1現在)

	通常学級							特支学級	合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
児童数	87	73	74	75	86	82	477	11	488
学級数	3	3	3	3	3	3	18	2	20

3 教科担任制推進教員を配置した授業計画

前期(令和6年4月8日～令和6年10月4日)

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道徳	総合	学活	外国語
週当たり標準授業時数	4	1	2.9	5	3	1.4	1.4	1.7	2.6	1	2	1	2
5年A組 (担任:A)	A	C	A	A	推進	専科	B	B	C	A	A	A	A
5年B組 (担任:B)	B	C	A	B	推進	専科	B	B	C	B	B	B	B
5年C組 (担任:C)	C	C	A	C	推進	専科	B	B	C	C	C	C	C

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道徳	総合	学活	外国語
週当たり標準授業時数	4	1	3	5	3	1.4	1.4	1.6	2.6	1	2	1	2
6年A組 (担任:D)	D	D	F	D	推進	専科	E	E	D	D	D	D	推進
6年B組 (担任:E)	E	E	F	E	推進	専科	E	E	D	E	E	E	推進
6年C組 (担任:F)	F	F	F	F	推進	専科	E	E	D	F	F	F	推進

後期(令和6年10月7日～令和7年3月25日)

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道徳	総合	学活	外国語
週当たり標準授業時数	4	1	2.9	5	3	1.4	1.4	1.7	2.6	1	2	1	2
5年A組 (担任:A)	A	A	A	A	推進	専科	B	B	C	A	A	A	専科
5年B組 (担任:B)	B	B	A	B	推進	専科	B	B	C	B	B	B	専科
5年C組 (担任:C)	C	C	A	C	推進	専科	B	B	C	C	C	C	専科

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道徳	総合	学活	外国語
週当たり標準授業時数	4	1	3	5	3	1.4	1.4	1.6	2.6	1	2	1	2
6年A組 (担任:D)	D	D	F	D	推進	専科	E	E	D	D	D	D	推進
6年B組 (担任:E)	E	D	F	E	推進	専科	E	E	D	E	E	E	推進
6年C組 (担任:F)	F	D	F	F	推進	専科	E	E	D	F	F	F	推進

4 成果と課題

(①授業の質の向上、②多面的な児童理解、③小・中学校の円滑な接続、④教師の負担軽減、⑤その他)

<効果のあった取組>

教育目標【八次コミュニティ・スクール】やつぎを愛し、自律と貢献の志をもった児童生徒の育成
重点事項 「学習指導と生徒指導の一体的な取組の推進」

上記の教育目標・重点事項を実現するために、以下のような指導体制を組むこととした。

- ◇ 授業を通して積極的な生徒指導を進めるため、学級担任を核とした学級経営を行う。
- ◇ 多面的・多角的な児童理解と組織的な生徒指導を進めるために、担任間で交換授業を行う。

このような指導体制の長所を生かし、短所を補うために次のように取り組んだ。

視点	取組
①	<ul style="list-style-type: none"> 週1回の学年会で指導方法（主に国語や算数）を共有した。 教科横断的な学習のために、理科と算数（6年）、理科と国語（5年）を関連させた指導案を作成し授業を実施した。
②	<ul style="list-style-type: none"> 各教科での児童のようすを交流した。（学年会や随時）
④	<ul style="list-style-type: none"> 授業準備の時間短縮のため、各担任が1～2教科ずつ担当教科を受け持って授業交換を行った。 推進担当が各クラスの毎週の時間割を作成した。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> 4月、8月、1月に教科担任制についての情報共有を校内で行った。また、保護者向けに教科担任制を紹介する動画を作成し、HPに掲載した。

<成果>

視点	取組	成果	
①	<ul style="list-style-type: none"> 週1回の学年会で指導方法（主に国語や算数）を共有した。 教科横断的な学習を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> > 6年生 算数科「比例・反比例」と理科「てこ」 > 5年生 国語科「統計資料の読み方」と理科「川と災害」 	<ul style="list-style-type: none"> 学年会の時間を中心として3クラスで指導方法や教材などを共有することで、授業の質を向上させることができた。 授業後の児童の感想には、算数科、国語科で学習したことと理科の学習とがつながっていることを感じている様子が見られた。 指導者は、その学年の指導内容全体を見渡し、単元間のつながりを意識して指導にあたることができた。（カリキュラム・マネジメント） 	<p>6年生ノートより</p> <p>5年生ノートより</p>

<p>②</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各教科での児童の様子を交流した。(学年会や随時) 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科の授業や行事での様子を共有し、多面的・多角的な児童理解へと繋げることができた。 各クラスや児童の課題を共有し、共通認識をもって組織的な生徒指導を行うことができた。 	<p>学年会での確認事項(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 休憩中における他クラス訪問時のルール 服装(防寒着)について 放課後の過ごし方 授業中の退室について iPad使用の約束
<p>④</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業準備の時間短縮のため、各担任が1~2教科ずつ担当教科を受け持って授業交換を行った。 推進担当が各クラスの毎週の時間割を作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> 1度の教材研究で複数回の授業を行うことができるため、授業準備の時間が短縮された。 副次的な効果として、同じ内容の授業を3回実施することになるため、短いスパンで授業の反省→改善→実行を行うことにより、授業技術の向上につながった。 学年会の時間を時間割調整に充てるのではなく、授業の相談や行事の企画、児童の実態交流に時間を使うことができた。 	<p>推進担当作成の時間割</p> 
<p>⑤</p>	<ul style="list-style-type: none"> 4月、8月、1月に教科担任制についての情報共有を校内で行った。また、保護者向けに教科担任制を紹介する動画を作成し、HPに掲載した。 	<ul style="list-style-type: none"> 高学年で実施している教科担任制の取組について、校内で周知することができた。 	<p>教科担任制のお知らせ(例)</p> <p>『5・6年生教科担任制の推進に関するお知らせ』</p> <p>令和6年8月 教科担任制推進担当 池本</p> <p>概要 今年度も、5・6年生の教科担任制の導入と運用を進めてまいりました。このたび当初の計画を見直し、一部変更しましたので、お知らせいたします。あわせて、今後の国の教育政策についてもお知らせします。</p> <p>1. 当初の計画について 当初の計画につきましては、別紙の資料をご参照ください。</p> <p>2. 変更点について 当初計画の変更点は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科横断的なカリキュラム・マネジメントと授業サポートの要 教科横断的なカリキュラム・マネジメントの取り組みと授業サポートに代わり、複数の教科を関連させた単元計画を作成し、実施します。次年度も活用できるように、指導案を共有しての方針です。今年度は、6年生においては理科と算数、5年生では理科と国語を対象にしています。 保護者向け通信の改善 保護者向けの通信に関しては、動画を作成し、ホームページに掲載する形に変更しました。 <p>3. 今後の国の教育政策について【参考】 2024年には、中央教育審議会が中学年(3・4年生)への教科担任制の基大案をまとめた。この制度改革は、学びの質の向上と教師の授業時間の軽減を目的としています。以下、この基大案に関する概要を記載します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科担任制の推進理由 小学校中学年では、主教科の学習が終了し、社会科、理科、外国語活動、総合的な学習の時間の時間が始まることから、各教科の特質に応じた学びが求められる段階に入ります。指導事項が次第に抽象的な内容に近づき、高学年や中学校への円滑な接続が求められるため、専門性のある教師による専科指導が重要となります。 教員の負担軽減 小学校中学年の教師の持ち授業時数は、高学年や中学校の標準授業時数に匹敵するため、教師の持ち授業時間の削減が必要となります。これに対応するため、今後は中学年でも教科担任制を推進し、専科指導のための教員数・定数の改善が求められます。 国の方針と柔軟な対応 国は一律に教師の持ち授業時数に上限を設けるのではなく、教育委員会や学校の実態に応じた柔軟な対応が望ましいとされています。具体的には、教科担任制の導入によって持ち授業時数が多い教師の負担を軽減する取り組みが必要とされます。 <p><small>資料提供：「令和6年度日本経済団体連合会(経団連)がまとめた「今後の国の教育政策に関する基大案」について(概要版)」 令和6年5月7日 中央教育審議会(中教審)がまとめた「今後の国の教育政策に関する基大案」について(概要版)」</small></p>

		<ul style="list-style-type: none"> 保護者向けに内容を分かりやすくした紹介動画を作成し、公開することができた。 	<p>教科担任制紹介動画</p> 
--	--	---	---

<課題>

①授業の質の向上

複数教科を関わらせた教科横断的な学習をする単元を増やしていく。

④教師の負担軽減

3・4年生への教科担任制（学級担任間での交換授業）の拡充

<対策>

課題	対策
<p>①授業の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科横断的な学習の単元を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初にどの学習に関わらせた指導を実施するか計画を決める。
<p>④教師の負担軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> 3・4年生への教科担任制（学級担任間での交換授業）の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初に時間割作成担当と連携して年間の交換授業計画を立てる。 高学年の教科担任制推進で培ったノウハウ（組織的な指導の展開、時間割調整の方法など）を共有する。